

和泉川水質・水位測定 2019年 8月

東山の水辺

日(曜)	時刻	水位 cm	流速 目視	流量 m ³ /分	雨量 mm	気温 ℃	水温 ℃	PH	電導率 マイクロS	その他(生物、透視度等)				
										ア	オ	ザ	ス	その他
1	木	18:15	19.8	良流			28.0	27.9	6.9	230	1		5	シマドジョウ1 ヌマエビ1 シマヘビ1 ヒグラシ
2	金	18:20	20.0	良流			27.8	27.6	7.0	230	1		2	ヌマエビ1 コジュケイ(声) ヒグラシ
3	土	18:35	19.5	良流			27.0	27.7	7.0	240			4	3 ドジョウ1 ヒグラシ
4	日	18:05	19.2	良流			27.9	27.9	7.2	240			4	ヌマエビ3 ヒグラシ
5	月	18:55	19.3	良流			27.2	27.7	7.0	220			8	ヌマエビ2 カワセミ(糞) ヒグラシ
6	火	18:50	19.1	良流			27.5	28.5	6.9	230			10	シマドジョウ1 ヒグラシ
7	水	18:40	19.2	良流			27.2	28.7	6.9	220			3	キンギョ小1 ヒグラシ
8	木	18:40	18.8	良流			27.4	29.0	7.0	240			8	ヒグラシ
9	金	18:10	19.0	良流			27.1	29.2	6.9	230			9	カワムツ大1 ヌマエビ1 ヒグラシ
10	土	18:25	18.5	良流			27.1	28.4	7.2	240	1		10	ヒグラシ
11	日	17:05	18.4	良流			30.2	29.6	7.1	220			4	クマゼミ(初鳴) ヒグラシ
12	月	18:30	18.1	良流		2	28.6	28.5	7.0	220			8	ヌマエビ1 クマゼミ ヒグラシ
13	火	18:20	21.6	泥流		16	26.9	28.2	7.2	165			4	ヒグラシ
14	水	18:30	19.6	泥流		14	27.7	28.1	6.9	70			5	カワムツ1 カワニナ1 ヒグラシ
15	木	18:20	28.7	薄泥流		13	26.9	26.8	6.9	6.8			3	ヌマエビ1 カワニナ1 ヒグラシ
16	金	18:25	18.4	良流		1	27.9	26.6	—	200			3	ヌマエビ2 クマゼミ ツクツクホーシ ヒグラシ
17	土	18:40	17.2				29.7	29	6.8	240			7	カワニナ2 ヒグラシ
18	日	18:55	17.2				27.5	28.8	7.0	240			6	アブラゼミ ヒグラシ
19	月	18:35	19.3	良流			26.6	28.1	7.0	240			3	ヌマエビ2 ツクツクホーシ アブラゼミ
20	火	18:25	19.7	良流		13	27.5	28.4	7.0	250			—	アブラゼミ ヒグラシ
21	水	18:05	17.9			0	27.0	26.9	6.9	250			10	タモロコ1 シマヘビ大1 ミンミン ツクツク アブラ
22	木	18:10	18.1	良流		0	26.6	26.6	6.9	300			5	ヌマエビ2 カワニナ1 アブラゼミ
23	金	17:00	32.4	泥流		9	24.7	26.1	6.9	162			—	アブラゼミ
24	土	18:00	16.4				27.3	27.1	6.9	220			10	ヌマエビ2 秋の虫 ミンミン アブラゼミ
25	日	17:55	17.0	薄泥流		6	24.8	26.4	7.1	200			—	ミンミン ツクツク アブラ
26	月	18:10	17.7			1	23.9	25.4	7.2	250	1		6	タモロコ1 カワニナ1 秋の虫 コジュケイ ヒグラシ
27	火	18:35	16.1				25.6	25.2	7.2	260			3	ヌマエビ1 秋の虫
28	水	18:10	25.6	薄泥流		15	25.0	24.7	7.1	106			—	アブラゼミ
29	木	18:10	19.1	良流			27.7	26.6	6.4	260			4	タモロコ1 ヒグラシ アブラゼミ
30	金	18:00	19.8	良流		21	25.7	24.6	7.1	121			6	ミンミン アブラゼミ
31	土	18:20	17.6			0	27.1	26.3	6.8	260		1	7	カワニナ1 コジュケイ ヤマガラ2 アブラゼミ
計			19.6	良18		111	27.1	27.4	7.0	212	4	1	157	3 カワムツ2 タモロコ3 キンギョ1 ドジョウ1 シマドジョウ2 ヌマエビ19 カワニナ7

特記

良流が18日・平均水位が19cmを越え数字の上では安定した流れになっているが、月の後半は降雨後少しずつ水位を下げていくという自然な変化が少なく、上流の河川工事など人為的な要因が加わっていたと考えられる。水生生物ではアメリカザリガニが圧倒的に多く、従来多くいたオイカワ・アブラハヤがとでも少なくなった。まだまだ1・2月の干上りの影響が続いているのだろう。オオブタクサは花粉症を引き起こし数年にわたって発芽し続けるやっかいな外来種である。種を結ぶ前に除去することが出来ず除去できたのは東山の水辺では下流側半分だけであった。来年度は多くの発芽を覚悟しなければならないであろう。